



# おじいちゃんとの最後の旅

スタルク作 クローザー絵 菱木 晃子 訳 徳間書店

ぼくとおじいちゃんは気があう。ふたりとも抜け目がなくて、人のいうことをきかない。おまけにペテン師だ。そんなぼくたちは、ある計画を練りあげた。入院先からおじいちゃんが抜けだして、ふたりでへ岩山の家へ行く計画だ。そこはおじいちゃんが、死んだおばあちゃんと住んでいた場所。おばあちゃんとの思い出を取り戻すために大切なものを取りに行くんだ。

頑固で怒りっぽい祖父とその孫。ふたりの最後の旅をユーモラスに描いた、愛があらわれる物語。

